

やすらぎ通信



春彼岸号

「老木の梅の

花の美しさ」

二月十五日はお釈迦様が亡くなられた日。禅寺では二月一日から十五日まで、お釈迦様が亡くなったお姿を現した掛け軸を本堂の東側の支柱に飾り、お

釈迦様の遺言といわれる『遺教経』ゆいきょうぎょうを毎夕、読む

習慣があります。

父が百歳を目前にして亡くなりました。みなさんは、「大往生でしたね」、「長命でしたね」と言って下さったのですが、やはり私にとってはかけがえない親。年齢は関係なく、もともとと長く生きてほしかったと心から思いました。

生前の父は禅語の「梅は寒苦を経て清香を発す」をよく好んで口にし、書にしたためていました。梅は極寒の辛い時を越えて素晴らしい花を咲かせるという意味。梅を人の一生に喩えたのでしょうか。短い言葉ではありますが、含蓄に富んだ名言であると思います。父はこの言葉に自らの一生を重ねていたのではないかと、私はこのごろ回想します。



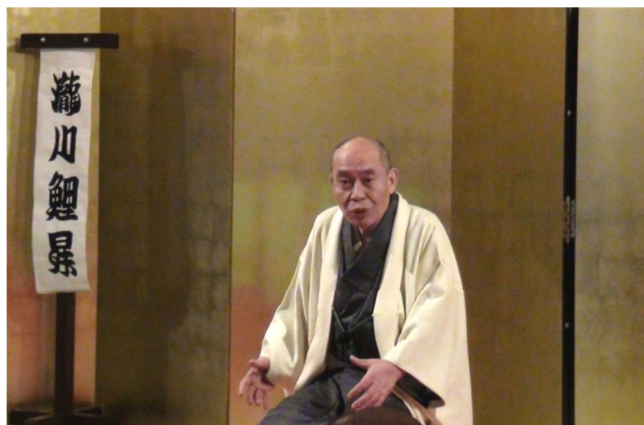
涅槃図

梅の木は老木のほうが大きい良い花を咲かせます。若い木は元気ではありますが、花は小さいようです。毎年訪れる熱海の梅園でも、素晴らしい老木の梅の花を目にします。

人間にも言えることではないでしょうか。枯れ木のような老体であるけれども、その人の言葉には真理の輝きがある。年齢を重ね、人生を生き抜いた人の説く法には、我欲が消えた清々しさと尊さを感じます。人生の最終章をそのように飾りたいものです。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌

住職著書「和尚のちょっとしたいい話」より



第94回じぞう寄席の滝川鯉昇師匠



鎮火祭の万灯会

【檀信徒行事】

二月

○道了講
○地蔵講

27 8
日 日

10 10
時 時

三月

○勝又家七回忌
○佐々木家七回忌
○道了講

3 4 7
日 日 日

13 12 10
時 時 時

○川名家四十九日

10 10
日 日

10 10
時 時

○大石家一周忌

10 10
日 日

11 11
時 時

○ペット春彼岸会

18 18
日 日

13 13
時 時

○春彼岸会

20 20
日 日

13 13
時 時

○地蔵講

23 23
日 日

10 10
時 時

○後藤家百ヶ日

24 24
日 日

11 11
時 時

○松永家四十九日

25 25
日 日

10 10
時 時

○片岡家七回忌

31 31
日 日

10 10
時 時

四月

○鈴木家四十九日

1 1
日 日

11 11
時 時

○道了講

6 6
日 日

10 10
時 時

○鈴木家百日

7 7
日 日

10 10
時 時

○影山家二十七回忌

14 14
日 日

11 11
時 時

○鈴木家百日

15 15
日 日

10 10
時 時

○板橋家 富士霊園

15 15
日 日

11 11
時 時

○禮田家

18 18
日 日

11 11
時 時

○東久爾宮賞授賞式

21 21
日 日

11 11
時 時

○村上家

22 22
日 日

11 11
時 時

○飯田家

22 22
日 日

11 11
時 時

【住職・寺族行持】

二月

○慶応大学学生合宿

6 8
日 日

三月

○梅花流講習会（三明寺）

5 日

9 時 30

○保護司会

8 日

13 時 30

○東部総和会（三島プラザ）

9 日

13 時 30

○大泉寺大般若

17 日

10 時 30

○興福寺大般若

25 日

11 時

四月

○慈雲院大般若

26 日

27 時 30

○宗務所

26 日

27 時 30

○管区護持会研修旅行

29 日

10 時 30

○桃源院大般若

30 日

10 時 30

○沼津市大岡地区戦没者慰霊祭

30 日

10 時 30

【三明寺文化倶楽部行事予定】

三月

○土・日曜日坐禅会

6 時

○月例坐禅会

8 日

19 時 30

○写経会

17 日

13 時 30

○御詠歌（寺族）

7 日

23 時 11

【お知らせコーナー】

□東日本の大地震から一年

早いもので、大災害から一年が経ちました。最初の頃は芸能人や多くのボランティアの人達がこぞって被災地に向かいました。現在は、その時の一割もないそうです。これからが正念場です。テレビで福島原発の原発地域が二十キロから二十キロ圏内に許可され、航空写真が映し出されました。爆破した原発地に数人の人が見えました。あとは人の子ひとりいない信じられないほどの廃墟の状態でした。何も手つかず状態の場所が多く、十年単位での復興支援が必要だとされています。

今は原発が活動しているのは二か所ですが、それでも停電もなく、過ごさせて頂いている訳ですから、環境エコ問題に今以上に考慮すれば、なんとかなるような気がします。国民がそれぞれ無駄なエネルギーを使わないようにすれば十分生活できるのではないのでしょうか。

□「三明寺会館」を研修所に開設

三明寺の離れを、文化クラブの研修会、展示会場として開放しています。どうぞ、ご利用下さい。

□永代供養墓地申し込みが増える

少子高齢化の時代に入り、墓地をもとめても子供がいらない、お墓が管理できないなどの問題がだんだん現実化してきました。

□花祭り

四月八日はお釈迦様のお生まれになった日です。甘茶の用意をしますので、門池のお花見にもお出かけください。

【編集後記】

今年の冬は長く寒い日が続きました。梅が遅咲きで、フキノトウが漸く開いてきました。寒いので、初めて炬燵を購入しました。結果として一家団欒するようになりました。

(O・S)

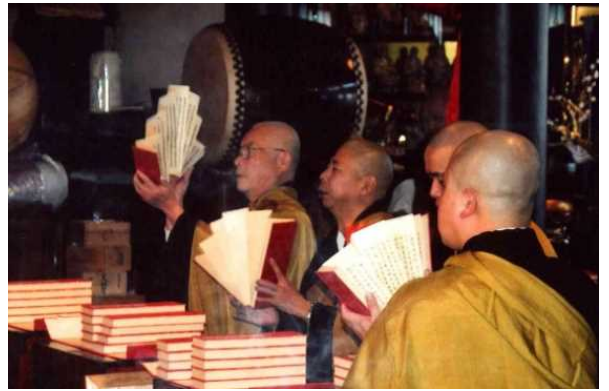
平成二十四年三月一日 第42号

発行所 曹洞宗 大嶽山 三明寺
編集所 大嶽山 三明寺
住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
電話 055・929・2323
FAX 055・929・2324
URL http://www.sanmyouji.com
メール info@sanmyouji.com

三 明 寺 大 般 若



上殿中の導師



転読中のご僧侶



僧侶による本堂内豆まき



導師による祈祷



読経中の弟子達



住職挨拶



沼津市出身 落語家の三遊亭橘也さん



梅花講々員の皆さん

三 明 寺 豆 ま き



年男の皆さん



三明寺萌えキャラ作者の皆さん



三明寺寺族



近隣の御奥会代表者



三明寺役員



婦人部の皆さん



御輿渡御の皆さん